

## 二葉の里歴史の散歩道

広島駅の北側の山々には 19 もの神社仏閣が点在しており、そのいくつかはこの都市そのものより何百年も前に創建されました。二葉の里散歩道は、それらの歴史建造物を探索し、広島の別の側面を知るのにつけてのコースです。

散歩道はこの都市最古のいくつかの寺社や、広島多くの戦後復興のシンボルの一つに当たる二葉山平和塔など、16 か所を結んでいます。散歩道では桜が花を咲かせ、楓の木も見られますが、それだけでなく奇跡的に原爆を生き延びた銀杏や松、クスノキといった木も認めることができます。これらの山々は広島城から見て北東にありますが、この方角は古来、不吉と見られており、代々の支配者はこの地に寺院を建てて邪悪なものを追い払おうとしました。二葉の里地域はずっと以前に拡大する郊外の波に飲み込まれましたが、それでも家屋や店舗のわきに小さなお堂がひっそりたたずんでいるのを目にすることができます。

10 キロに及ぶ散歩道をすべて歩くとほぼ半日かかりますが、広島駅を起点にする一部だけのルートならたやすく始めることができます。この部分は、原爆の傷痕が今も残るいくつかの寺社を含めて多くの神社仏閣があり、2 時間余りで駅まで戻ってこられるループ状のルートになっています。もちろん、散歩道のどの場所から歩き始めてもかまいませんし、自分の好きな順序で各施設を訪れることができます。